

社会福祉学部

社会福祉学科 行政専修／子ども専修／医療専修／人間福祉専修

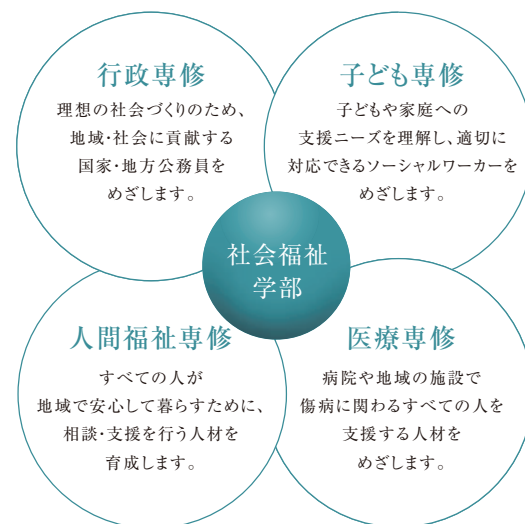
誰もが自分らしく生きるために。
幸せあふれる地域づくりに貢献する。



人は地域の保健・医療・福祉などの専門機関や施設などを利用し、日々の暮らしの中で人間関係を築きます。その一人ひとりの生活を幸せなものにするために、地域のあらゆる場所に「ふくし」が必要とされています。本学部は、日本で最初に誕生した4年制大学の社会福祉学部として、60年以上の伝統を踏まえた教育を展開。人と地域の幸せの実現に向けて、幅広い分野で力を発揮できる「ふくし」のスペシャリストを育成します。

4つの専修から、「ふくし」の幅広い領域へ。

社会福祉学部では4つの専修を設置し、「ふくし」の幅広い分野に高い専門性を持って対応できるよう教育を展開しています。全専修で社会福祉士国家試験受験資格が取得可能。また、専修によっては「精神保健福祉士」「保育士」などのダブルライセンスもめざせます。人と地域の幸せの実現に向けた「ふくし」のスペシャリストを育成します。



4年間の学び

1年次

■総合演習(ふくしコミュニティプログラム)

主体的に学びながら地域への関心力を高めることをめざし、「地域を知る→調べる→地域とかかわる→学習を深める→成果をまとめる」という一連の学習プロセスを体験するゼミナール形式の授業です。学生は専修ごとに少人数クラスに分かれ、自らテーマを決め、調査し、考え、クラスの中で討論・共有するなどして学びを深めていきます。身近な社会問題の解決をめざし、地域住民の立場や視点を感じ取る力を養います。

2年次

■フィールド実践演習

学内での文献学習にとどまらず学外での体験を重視し、専修ごとに特色ある演習を行います。知多半島のNPO等と連携して5日間の地域活動をする「サービスマスター型」、福祉分野にとらわれず地域研究と課題解決のための企画立案・実践学習を行う「地域研究型」、保健医療機関などでチームケアを体験学習する「多職種連携型」、全国の先進的福祉施設などで見学・研修する「エクスカッション型」があります。

地域、多職種との連携で、学びの広がりを実感する。

◎地域マネジメント実践I(1年次)

行政・NPO法人・住民などから協働型のまちづくりを学ぶフィールド学習です。実際に現地へ足を運んで地域交流し、その取り組みを目で見て学びます。

◎地域マネジメント実践II(2年次)

ケースメソッドや事例検討などにより、社会福祉の専門職に必要な多職種連携の実践力を身につける参加型の学習です。他学部との合同授業も行い、他職種への理解を深めます。

社会福祉学部の特色ある取り組み

◎ダブルライセンスが、幅広い分野での活躍を後押し。

4専修すべてで、あらゆる相談援助職のベースとなる社会福祉士の国家試験受験資格が取得可能。その他、下記の資格・免許状取得をめざせます。

- ◎児童相談所や児童福祉施設への進路をめざす場合は「保育士」資格取得
- ◎病院や社会福祉施設で働くソーシャルワーカーをめざす場合は「精神保健福祉士」国家試験受験資格の取得
- ◎福祉教育に携わることをめざす場合は「高等学校教諭一種免許状(福祉)」の取得

◎正課科目で国家試験合格をサポート。

4専修すべてにおいて、国家試験合格に向けて「社会福祉特別講座I～III」を、3年次後期から国家試験直前までの1年半、正課科目として開講。試験対策を中心とした学習支援や社会福祉士として福祉の実践現場に自らが貢献していくことの意義などを理解し、国家試験に合格するための専門的な知識を身につけることができます。

◎社会福祉学部 スカラシップ入試

スカラシップ生対象の「特別育成プログラム」で、福祉分野のリーダーを育成。公務員をはじめ多様な分野で活躍する能力と意欲を持つ人材の育成をめざす入試です。スカラシップ生の第33回社会福祉士国家試験合格率は85.7%(全国合格率31.1%)、学部全体では47.0%の結果でした。

▶合格者には特別教育を実施!

入学直後から「特別育成プログラム」による教育を実施。2021年度は、「フレッシュマン・イングリッシュ」特別クラス開講、「地域マネジメント実践I」の履修推奨、「特別研修会」「チューター研修」を学生が企画・運営、「学びの記録」ファイルを活用した個別指導などを行いました。

▶授業料の半額減免が4年間続く!

合格者は、授業料の半額減免が4年間継続。入学金も半額減免となります。定員は20名。詳細は入試ガイドをご覧ください。

*学修達成状況(単位修得等)が著しく悪い場合には、途中で授業料減免を打ち切ることがあります。

3・4年次

■社会福祉専門演習I・II

1・2年次の学びを発展させ、深めたい研究テーマや希望の進路に応じて3年次にゼミを選択。3・4年次の2年間は同じメンバーで文献調査やフィールドワークなどの演習を進め、他ゼミや先輩・後輩との交流も深めながら卒業論文にまとめていきます。

■ソーシャルワーク実習

愛知県や長野県および本学が提携する社会福祉法人運営の福祉施設・事業所などで、2年次から3年次にかけて240時間以上の実習に臨みます。ソーシャルワークを担う専門職への理解を深めるとともに、実践を通して援助技術や「ふくし」の心を磨きます。

■ソーシャルワーク専門実習

ソーシャルワーク実習の修了者は、関心に合わせて「子ども」「障害」「高齢・地域」などの分野別に専門機関で実習します。

■医療ソーシャルワーク実習

一般病院、療養型病院などの保健・医療分野で実習し、医療福祉の学びを深めます。

◎地域マネジメント実践III(3年次)

地域連携と多職種連携を両輪とする本学の連携教育に基づき、連携を実践する上でソーシャルワーカーが果たす役割を実践的に学びます。他大学の医学部、看護学部、薬学部を含む4大学11学科の学生との合同授業に参加します。

◎在学ギャップイヤー

3～4カ月間にわたり学外において短期間では体験できないようなフィールドワークを実施するプログラムです。